

広島空港特定運営事業等 中期事業計画 (2021年度-2025年度)



広島国際空港株式会社

※ この中期事業計画は、2020年7月の提案時における想定です

中四国の持続的成長を牽引し続ける圧倒的No. 1 ゲートウェイ

<30年後の将来ビジョン>

広島空港を「あらゆる旅行者に最も選ばれる玄関口」へ、中四国を「世界に選ばれる目的地」へ



戦略的事業方針

1. 中四国で唯一無二の航空ネットワークの構築

- 中四国で唯一の国際路線の誘致
- 本邦LCC・リージョナルキャリアの拠点化
- アジア主要路線のデイリー化

2. 全旅程において旅客の期待を上回る感動体験の提供

- 中四国全域の航空需要を取り込む交通拠点化
- 旅を彩る新たな商業体験の提供
- 臨空エリアと一体で中四国の魅力を発信する観光拠点化

3. 観光・ビジネス双方によるインバウンド・アウトバウンド需要の創造と獲得

- 中四国観光の課題解決により、世界に選ばれる目的地へ
- 構成員自らによる需要創造と空港の利用促進

2050年度目標値

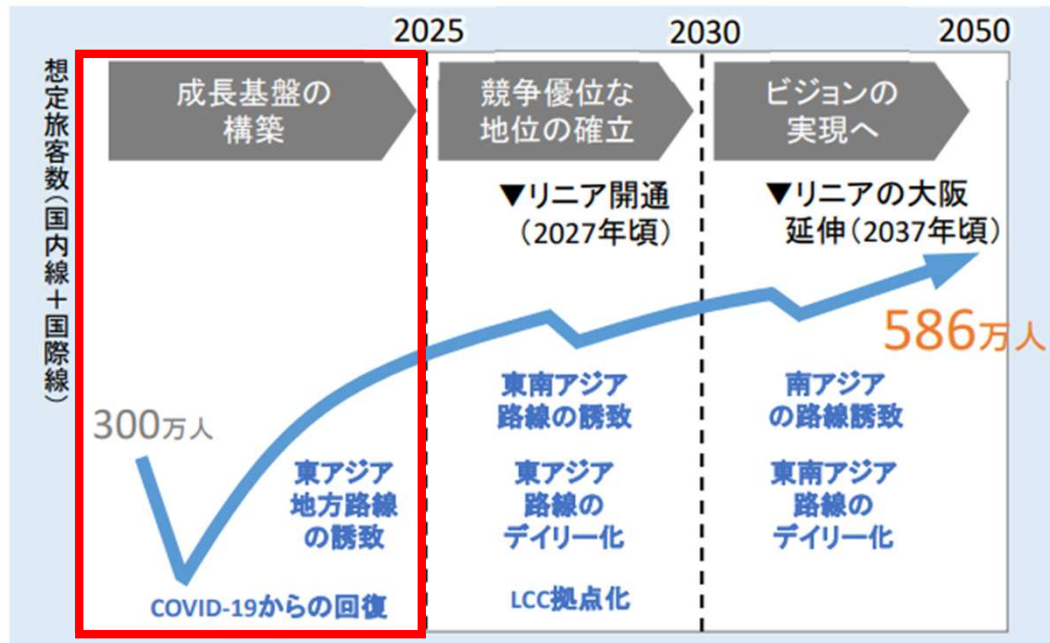
- 旅客数 586万人
- 貨物量 26.2千t
- 路線数/便数 国内線：8路線/2.4万便
国際線：22路線/1.6万便

- 総合満足度：8.0
- NPSスコア：20.0
- 搭乗手続きに係る時間 国内線出発10分以内

※ この中期事業計画は、2020年7月の提案時における想定です

中期計画の全体像

- ✓ 30年間の将来成長を確かなものとするために、COVID-19による航空需要の一時的蒸発から速やかに立て直します。
- ✓ 2030年頃に見込まれる関空・福岡の容量拡大、リニア開業等の外部環境の変化を勘案し、当初5年間を最重要期間と定めます。



2025年度
目標値

- 旅客数 407万人 (国内線338万人、国際線69万人)
- 貨物量 23.3千t
- 路線数/便数 国内線：5路線/22千便
国際線：12路線/5千便

- 総合満足度：7.5
- NPSスコア：0.0
- 搭乗手続きに係る時間 国内10分、国際20分

※ この中期事業計画は、2020年7月の提案時における想定です

2025年度までの具体的施策



中四国で唯一無二の広がりを持つ航空ネットワークの構築

専門性と実行力をもったエアライン誘致体制

- ✓ 業界経験者を配置した航空営業本部を設置し、マーケティングやエアラインへの誘致活動を実施
- ✓ 広島県や地域経済界とも緊密に連携、地域を挙げての取り組み

COVID-19による運休・減便からの早期回復

- ✓ 国や日本政府観光局、地域関係者と連携した観光情報や安全情報の発信
- ✓ 運休、減便路線に対する空港料金の割引制度を導入
- ✓ 観光旅行フェア開催等による早期の国内旅行需要回復

エアラインの路線成立性を高める需要の創造

- ✓ ターゲット都市と中四国の双方でエアラインや他空港との共同プロモーション
- ✓ 旅行機運の醸成に向けたメディアミックスでの情報発信
- ✓ LCC路線の活用や価格訴求型PRによりLCC誘致と需要喚起
- ✓ 地域の旅行会社や自治体と連携して旅行商品の販売促進

新たな料金体系・インセンティブ制度等の速やかな導入

- ✓ エアラインの需要変動リスクに対応する着陸料他の料金体系
- ✓ マーケティング支援や就航コスト低減に寄与するインセンティブ制度

※ この中期事業計画は、2020年7月の提案時における想定です

2025年度までの具体的施策



旅客の期待を上回る感動体験の提供

旅客・エアラインの受入体制整備

- ✓ 旅客ビルの増築、保安検査場等を拡張しピーク時の需要に対応
- ✓ 内際共用スポット増設や自走式スポット整備により運航効率化
- ✓ 保安検査場の拡張、スマートセキュリティの導入
- ✓ 到着ロビーの内際一体化とカーブサイドの一部屋内化
- ✓ 駐車場の拡張、予約サービスなどのサービス拡充
- ✓ レンタカーステーションの新設

快適で魅力的な商業エリア

- ✓ 多様な飲食店や中四国の魅力を発信するアンテナショップ
- ✓ 免税店の拡大
- ✓ 国内線制限エリアの商業店舗拡大

空港アクセスの拡充

- ✓ 新規直行バスや、既存の高速バス路線の広島空港経由化により、ダイレクトアクセス可能な拠点を拡充
- ✓ 目的地までの多様なルート選択肢を旅客・エアラインに情報発信し、空港アクセスと既存交通ネットワークの接続性を強化

安全・安心を守る安定運用

- ✓ 特定天井改修による自然災害への耐性強化
- ✓ 非常用電源能力向上による施設の強靱化
- ✓ オペレーションセンター新設による情報一元化と運用機能向上
- ✓ 先進技術の導入による施設等の長寿命化、維持管理の効率化
- ✓ 公共車両と一般車両との輻輳をなくすレーン改変等による安全性の強化

空港事業の持続可能性の確保

- ✓ 採用センターを設置し、働き手を確保
- ✓ 従業員用施設などES向上施策の実施・省力化の推進
- ✓ 環境負荷低減への取組

※ この中期事業計画は、2020年7月の提案時における想定です

2025年度までの具体的施策



観光・ビジネス双方での インアウト需要の創造と獲得

認知度向上によるインバウンド利用促進

- ✓ 関係事業者と共同でのデスティネーションマーケティングを実施
- ✓ 海外REP(*)を活用した中四国の認知度向上
- ✓ 地域DMOとの連携や情報提供、多様なニーズに応じたガイドツアーなど受け入れ体制構築を支援
- ✓ テーマ性に富むファムトリップを造成

新たなアウトバウンド層の開拓

- ✓ 幅広い媒体を活用した就航先の魅力発信
- ✓ LCCを活用した新たな商品造成を支援

地元一丸となったビジネス需要の創造

- ✓ 中四国の企業を会員とする「広島空港サポーターズ倶楽部」による法人向けの利用促進
- ✓ 海外進出セミナーや商談会等、行政と連携した取り組み

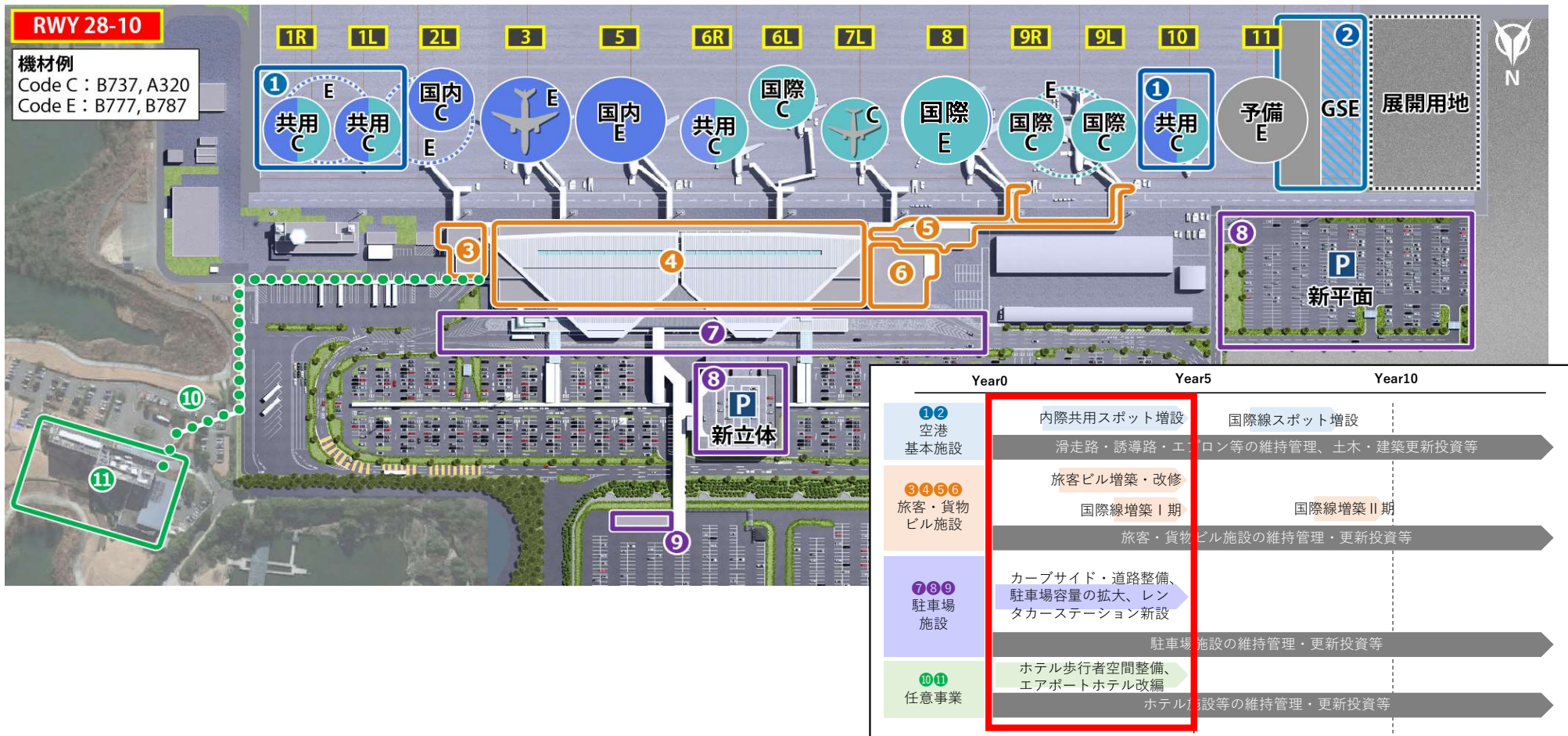
*Representativeの略。代理人として就航先のメディアや旅行会社と日常的に接触し、デスティネーションマーケティングを実施

※ この中期事業計画は、2020年7月の提案時における想定です

2025年度までの投資計画

運営権施設の投資総額 37億円

非運営権施設の投資総額 158億円



※ この中期事業計画は、2020年7月の提案時における想定です